

新潟地方气象台(令和7年4月22日発表)の3か月予報では、暖かい空気に覆われやすいため、気温は平年より高く、降水量、日照時間は平年並みの予報です。

寒暖差の激しい気象が予想されます。ヤケ苗、ムレ苗などの温度障害に注意して育苗管理を行いましょう。

稲作技術情報

『丁寧な本田作業②』

～ポイントを押さえた代かきで最適な環境づくり～

1. 生育環境の均一化と漏水防止

丁寧な代かきで田面を平らにして漏水を防ぎ、移植後に管理のしやすい環境を作りましょう。

- ・田面の高い部分が見えかくれする程度の最小限の水位で行いましょう。
- ・練りすぎに注意し、酸素不足にならないように圃場の下層に土塊が残る程度に仕上げましょう。
- ・高低差3～4cm以内の均平に仕上げ、除草剤の効果を安定させ、薬害リスクを軽減しましょう。
- ・代かき直後の移植は、浮苗による欠株が生じやすい為、代かき後1～3日空けて移植しましょう。

環境に配慮した作業についてのお願い

被覆肥料(粒状一発肥料等)は、施肥回数減による労力減などの優れた特徴を持っている半面、肥料成分が溶出した後のプラスチック殻が特に代かき時に水面へ浮遊しやすく、圃場から河川等へ流出する可能性があります。圃場から流出させない取り組みにご協力ください。

～流出防止のポイント～

畦畔管理	・丁寧な畔塗りで漏水を防ぎましょう。 ・止水板は畔の高さ程度とし、水尻からの流出を防ぎましょう。
代かき・田植え時の水管理	・<u>代かきは、ワラが浮かない程度の水量で行い、直後の排水は控えましょう。</u> ・田植え時は強制落水せず、自然落水で水位を調整しましょう。

2. 初期除草剤による雑草対策

作業日程や用途などに応じて、初期除草剤の散布を検討しましょう!

※散布時は、水深3～5cm程度湛水し、水口と水尻は必ず止めてください。

品名		使用量(10a)	使用時期	
定番商品	草笛フロアブル		300 mℓ	・代かき後～田植え 7 日前
	メテオ	1 キロ粒剤	1 kg	・田植え時
		フロアブル	500 mℓ	・田植え直後～ノビエ 1 葉期（但し、移植後 30 日まで）
低コスト	クラール	1 キロ粒剤	1 kg	・田植え時
				・代かき後～田植え 7 日前
藻類・表層はく離対策		EW（乳剤）	500 mℓ	・田植え直後～ノビエ 1.5 葉期（但し、移植後 30 日まで）

代かき後、移植までに1週間以上の期間が空く圃場では、雑草対策として初期除草剤の移植前処理をお勧めします。但し、移植前処理を行った場合は、処理から7日後より移植可能となりますのでご注意ください。

3. 基肥の施肥

(1) 施肥目安と施肥量の計算

- ・「基肥＋穂肥」…基肥の窒素成分量3～4.5kg、穂肥の窒素成分量2～3kg
- ・「基肥－発肥料」…総窒素成分量4.5～7kg

(2) 施肥目安と施肥量の計算

下記表の比重の目安を参考に施肥機の設定を行いましょう。

種類	肥料名	成分量 (%)			比重	慣行栽培米 施肥量目安 (kg/10a)	窒素成分量 (kg/10a)
		N	P	K			
粒状基肥肥料	有機30魚沼口マン側条専用粒状	12	15	12	0.8	25～38	3.0～4.5
	有機30魚沼口マン500号	15	10	10	0.7	20～30	3.0～4.5
	国産高度化成14-14-14	14	14	14	0.9	20～32	2.8～4.5
元肥－発肥料	越後の輝き有機30スーパー元肥	15	7	7	0.8	30～40	4.5～6.0
	越後の輝き有機50スーパー元肥プラス	12	6	5	0.8	40～58	4.8～6.9
	コシヒカリ－発元肥2286	22	8	6	0.9	20～28	4.4～6.2
基肥－肥料	魚沼口マンペーストS220	12	12	10	1.3	25～37	3.0～4.4
	フレーバーペースト734	7	3	4	1.3	40～60	2.8～4.2

4. 初期生育と登熟期を意識した移植作業（田植え）

(1) 5月10日～25日頃を目安に移植しましょう！

近年は、生育期の高温で出穂が早まり高温障害による品質低下(白未熟粒等)が発生しやすくなっています。コシヒカリの移植を、5月10日以降にすることで出穂期を8月以降にし、高温障害の緩和に努めましょう。

移植期ごとの品質・収量安定化のポイント

5月上旬の移植：気温や水温が低く、植え傷みが発生しやすい(初期分げつが発生しにくい)

→「入水回数を極力少なくし、日中は止め水にするなどにより保温に努めましょう。

6月以降の移植：生育期間が短く、有効分げつの発生が少なくなりやすい

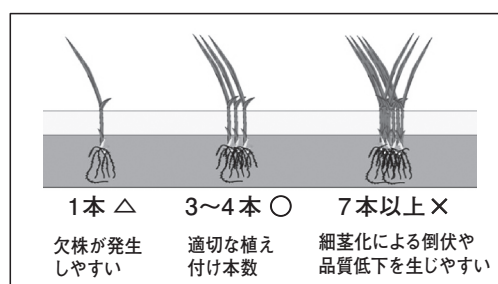
→植付け株数を60株に設定するなど、栽植密度を増やして莖数の確保に努めましょう。

(2) 植え付け本数は3～4本がベスト！

植え付け本数が多くなると、莖質及び登熟期の根の活力が劣り、倒伏や品質低下につながります。

また、植え付け本数が少ないと、欠株が生じやすく収量が不安定になります。安定生産のためにも1株苗数は3～4本にしましょう。(図1)

【図1 植え付け本数】



(3) 植え付け深さは2～3cmに調整！

4cm以上の深植えは、分げつの発生が抑制され初期生育が劣ります。また、極端な浅植えは浮き苗による欠株や除草剤の薬害の原因になる為、植え付け深さは2～3cmに調整しましょう。

5. 田植えから活着期の水管理のポイント

田植え後は水温が高いほど、発根・活着が早くなります。特に移植後初期は「水温と地温の確保」を意識した水管理を行いましょう。

- (1) 好天日は水温を上げる為に浅水管理を行い、活着・分げつを促進して良質茎の早期確保を図りましょう。
- (2) 入水を行う際は早朝に行い、日中は水温上昇を図りましょう。

活着前			活着後～中干し
通常時	好天時	低温・荒天時	
			
水位			水位
やや深水管理 (3～4cm) ・低温や風による 植え傷みを回避	浅水管理 (2～3cm) ・水温を上げ、早期 活着を促す	深水管理 (7～10cm) ・保温に努める	やや浅水管理 (2～3cm) ・水温を上げ、分げつ の早期発生を促す

水は限りある資源です。用水は大切に使い、かけ流しは絶対に行わないでください。

6. 除草剤散布後の水管理（初期剤、初・中期一発剤）



- (1) 除草剤散布後3～4日間は水位を保ちましょう！

散布後3～4日間は、極力入水を行わないようにしましょう。やむを得ず入水する場合は、除草剤の処理層を壊さないよう、なるべくゆっくり入水しましょう。水口部に緩衝物などの設置も有効です。

※水持ちの悪いほ場の場合は、最大限に入水した後に散布を行いましょう。また、散布後1日間で田面が出た場合でも、それから更に1日程度は入水を我慢しましょう！

- (2) 除草剤は早めの散布が効果的！

雑草の初発生時(草丈1～2cm)は土中に隠れていることが多く、目視で確認できる頃には草丈は大きくなっています。田面に雑草が確認できる前に、早めの散布を心掛けましょう。

★お勧め除草剤★

品名	剤型	使用時期	特徴
カイリキZ	1キロ粒剤	・移植時 ・移植直後～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	ノビエ、ホタルイ、コナギなどによく効き、ノビエの発生も長く抑えます。
	フロアブル ジャンボ	・移植後3日～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	
カウンシルエナジー	1キロ粒剤	・移植時 ・移植直後～ノビエ3.5葉期 (但し、移植後30日まで)	ノビエに対する残効性が長いほか、アゼナ類、コナギにも効果を示します。
	フロアブル ジャンボ	・移植直後～ノビエ3.5葉期 (但し、移植後30日まで)	
天空	1キロ粒剤	・移植時 ・移植直後～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	SU抵抗性雑草に高い効果を示し、多年生雑草は地下部にも効き、発生を抑制します。
	フロアブル ジャンボ	・移植後1日～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	



除草剤を含む農薬を使用する際は必ずラベルの使用基準を確認・厳守してください。

野菜の定植

1. 植え付け準備

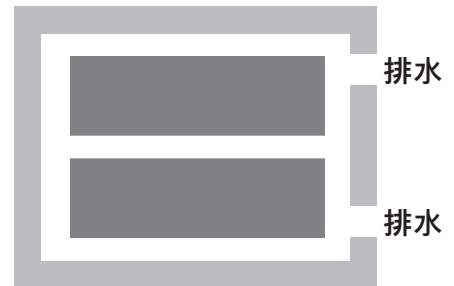
(1) 石灰類でのpH値の矯正と有機質肥料の散布

石灰類と堆肥（有機質肥料）は、植付け1～3週間前（種類ごとに日数が違います。）に施用しましょう。

(2) 深耕と溝掘りによる水管理の向上

水持ち・排水の向上のために、深く耕耘してください。
また、転作田など雨水のたまりやすい畑では、周囲に明渠（溝）を掘りましょう。（右図参照）

白線部分に溝を掘る



(3) 基肥と追肥について

植付け前に施す肥料を基肥、生育途中に施す肥料を追肥と呼びます。

野菜ごとに施肥の内容が異なりますので注意しましょう。

【肥料の効果と資材例】

① 基肥		② 追肥	
効果 ～比較的ゆっくり効く～		効果 ～比較的早く効く～	
MMB燐加安	果菜一発	NK化成	くみあい液肥2号

【野菜の種類による施肥のコツ】

果菜類	生育期間が長いので、基肥は効き目の緩やかな肥料を主体にして、効き目の速い肥料で追肥を行いましょう。 また、果菜一発などの基肥一発肥料を使って追肥を行わない方法もあります。
葉菜類	生育期間が短いので、基肥を重点に施用し、追肥を行う際は早めに行いましょう。
根菜類	ばれいしょ・大根など生育期間の短いものは基肥を重点に行いましょう。 また、さといも・人参など生育期間が長いものは基肥と追肥が必要となります。

(3) 基肥の施用と畝立て

植え付け5日前までに基肥を施用して、作物にあわせた畝立てを行います。併せて、必要な場合はマルチを張り地温上昇や雑草抑制に努めます。

🔗マルチ張りのポイント

マルチを張る際は、栽培中、水分不足にならないよう十分に畝を湿らせた状態で、気温が高い日中に行う。また、風ではがれることがあるので弛まないようにしましょう。

2. 苗の植え付け

(1) 早植えは禁物

雪が消え、日中が暖かくなっても、思いがけない低温や遅霜の日があります。

極端な早植えは初期生育が悪くなるため、地温が15℃以上（平年は5/10以降）になる頃が植え付け適期です。

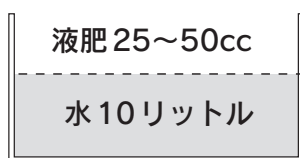
(2) 植え付けは天気の良い午前中が最適

根の活着のため、天気の良い暖かい日の午前中に植え付けましょう。逆に寒い日や風の強い日は根の活着が悪くなるため、なるべく避けましょう。

(3) 植え付けの方法

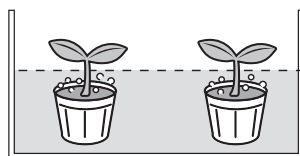
- ①作物にあった間隔で植穴を掘ります。
- ②植穴に予防用粒状殺虫剤（例：ダントツ粒剤）を入れ、土と混ぜる。
- ③さらに植穴に、液肥200倍液を1穴当たり1ℓ程度入れる。
- ④植え付ける苗は、根張りを良くするためあらかじめ液肥200倍液に浸し、ポットから泡が出なくなったら、引き上げて水切りをしておく。

《液肥のうすめ方》



10リットルの水に対してくみあい液肥2号を50cc（200倍）～25cc（400倍）にして入れ、よくかき混ぜる。

《液肥の浸し方》

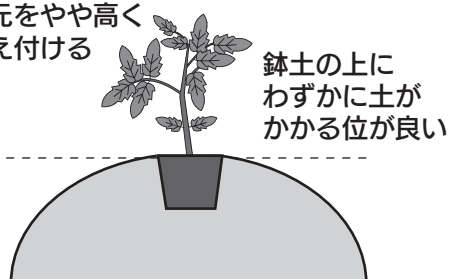


水を入れた容器に、鉢土から泡が出なくなるまで鉢ごと浸す。（ぬるま湯の方がよい）。鉢を上げた後、1時間程度放置すると根鉢がしっかりする。

- ⑤植穴の液肥が完全にしみ込んだ後に、野菜苗を植え付ける。

★良い植え付け方

株元をやや高く
植え付ける

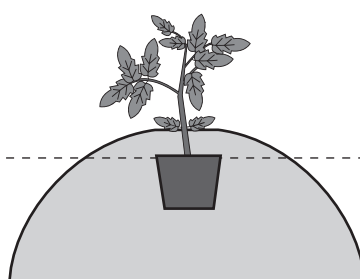


鉢土の上に
わずかに土が
かかる位が良い

温度・水分・酸素の供給面
から好ましい

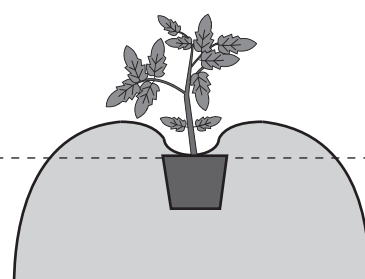
★悪い植え付け方

㊦ 深く植え過ぎ



地温が上がりにくく
茎の基部から侵入する
病害に弱い

㊧ 株元のくぼみ

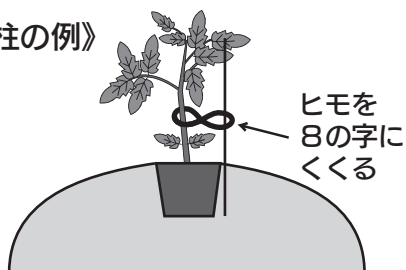


株元が排水不良で加湿に
なりやすい

- ⑥上図㊦のように深植をしないこと。特に、接ぎ木苗の場合は接いだ部分が土に埋まらないように植え付ける。また、マルチ穴のフチはしっかりと土で覆って、隙間からの熱風で苗を焼かないように注意する。

⑦植え付け後に仮支柱を立て、風害から守りましょう。

《仮支柱の例》



30cmほどの短めの支柱を根を傷めないよう、根元から離して立て、苗の茎にゆとりをもたせヒモで支柱に結びます。苗が成長してきたら本支柱に替えましょう。



⑧早植えをする場合は定植後、風や低温から守るために、トンネル被覆・苗キャップ・あんどん等の対策をしましょう。(あんどんは使い終わった肥料袋とイボ竹を使って作れます。)

野菜苗の販売について

今年も下記店舗で野菜苗を販売します！



あぐりぱーく八色
TEL025-788-0253

アグリセンター六日町
TEL025-773-6121

四季味わい館
TEL025-783-3983

5月上旬頃～6月下旬頃の取り扱いを予定しております。

※種苗市としての開催はありませんのでご注意ください。

苗の生産状況により、時期が変更となる場合がありますので詳しくは各店舗までお問い合わせください。



最近話題の「バイオスティミュラント」って何??

植物が元々持っている力を引き出し、環境ストレスに強くすることで、収量や品質、貯蔵性を高める農業資材といわれています。

暑さ対策に！ バイオスティミュラント「ライスフル」(育苗期処理)

※暑い夏の良質な米づくりをサポートする高温ストレス耐性剤です。植物由来の成分が稲の細胞を刺激し、本来持つ高温ストレス体制を活性化させ、暑い夏のストレスを回避し、良質な米づくりをサポートします。※詳しい内容は、営農指導課までご確認ください。

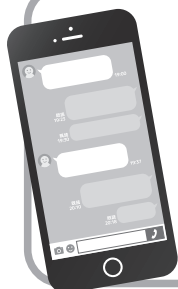
《アグリセンター資材店舗からのお知らせ》

棚卸し作業のため営業時間を短縮させていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。
5月31日(土) 営業時間 8:00～12:00 午後は臨時休業致します。

SNSによる営農情報の配信(LINE)

JAみなみ魚沼では、LINEによる営農情報の配信を行っております。LINEでは、最新の気象情報や水稲、西瓜、園芸品目などの栽培情報などを配信いたします。

メール配信では無かった、画像を添えた配信などもありますので、多くの方からのご登録をお願いいたします。
(スマートフォンアプリ/LINEをインストールする必要があります。)



ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

◎アグリセンター大和 TEL777-3786

◎アグリセンター六日町 TEL773-6121

◎しおざわ基幹センター TEL782-1171